



短歌

奨励賞

【自由作品】

日々を楽しむ

野田 洋子

高圧線に椅子取りゲームさながらに鴉の大群また入れ替はる

玉砂利の墓地の四隅にひつそりと自生の葎彼岸を囲ふ

一乗谷を出づれば車窓をふた分けに麦秋の海稲のさ緑

「おかへり」と見守り隊のかくる声「おかへりなさい」と兎らに返さる

手の中の柔き固まりの紙粘土見守り隊の吾に触れさす